

日本学術会議
自動運転の社会実装と次世代モビリティによる社会デザイン検討委員会
自動運転企画分科会（第25期 第3回） 議事要旨

日時 令和3年8月28日(土) 15:00~17:00

会場 オンライン開催 (Zoom)

参加者 永井、大倉、鎌田、有本、遠藤、須田、藤井、宮崎、中野

議題

(1) 委員会の企画調整について（委員会・小委員会関係他）

課題別委員会は、次回、9/28 15-17時に開催予定

議題は話題提供と小委員会報告となる予定。

話題提供は、家田委員と鈴木秀美委員にお願いする予定である。小委員会は、月一回のペースで行う。今後は、9/16, 10/8, 11/4 を予定している。時間は全て17-19時である。小委員会の議事録と話題提供資料は、課題別委員会に共有するようにする。今井委員より、車による事故と刑事責任に関する論文の投稿があった。今井先生は学術フォーラムでも講演をお願いしているが、課題別委員会で、今井先生を交えて、議論する場を設けても良い。

(2) 学術フォーラムについて

開催日は12/13にほぼ決定である。ELSIを前面に出しているが、社会の動向も踏まえて、社会デザインを深める内容にしてほしいとの意見があった。境町の町長に講演をお願いしている。ビデオでの登壇になる可能性もあり、その場合は、パネルディスカッションでは、ボードリー（株）社長の佐治氏にご登壇を頂く。

(3) 学術の動向について

7月の安全工学シンポジウムを原稿にする。内容に偏りがみられるので、数名の執筆者を加えることにする。一般の人にもわかりやすい書き方が求められている。委員は掲載後に積極的に引用するようにしてほしい。

(4) その他（今後の進め方）

課題別委員会と小委員会で、ELSI、社会デザインをキーワードに議論を深めていき、カーボンニュートラルの動向も踏まえながら、提言の作成を行う。学術会議で提言のあり方が議論されており、分科会ごとに出していた提言が、矛盾しないように調整することが行われる。

学術フォーラムに関しては、共催、後援の依頼先の検討を含め、広報活動の行い

方を考える必要がある。

資 料

資料1：自動運転分科会議事要旨案（第2回）

資料2：学術フォーラム企画案（第315回幹事会）

資料3：「学術の動向」特集企画案（自動車の自動運転の今）